

関西電力の回答書に対する関西電力の回答

関西消費者団体連絡懇談会は、関西電力、大阪ガスとの定期懇談会を行っています。懇談会に先立って質問書を提出し、その回答をもとに意見交換をします。懇談会は関西電力が11月10日、大阪ガスが11月12日です。今回は、関西電力の回答書から新規質問・データ編の回答を抜粋で掲載します。

新Q 1. 2020年3月期決算における、電気料金の総括原価の費用2019年度実績を科目ごとに明らかにし、その評価について見解をうかがいます。

【回答】

(百万円)

| 総括原価の科目 | | 総括原価の実績 | | | | |
|---------|---------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
| 人件費計 | 役員給与 | 321 | 457 | 593 | 725 | 682 |
| | 給料手当 | 139,840 | 145,342 | 153,356 | 161,112 | 154,291 |
| | 給料手当振替額 | ▲ 3,648 | ▲ 3,389 | ▲ 3,556 | ▲ 3,849 | ▲ 3,689 |
| | 退職給与金 | 29,024 | 30,722 | 33,129 | 23,554 | 21,291 |
| | 厚生費 | 27,497 | 28,544 | 30,539 | 31,526 | 31,039 |
| | 委託検針費 | 1,196 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 委託集金費 | 397 | 372 | 0 | 0 | 0 |
| | 雑給 | 2,095 | 2,635 | 3,159 | 3,469 | 3,827 |
| | 人件費計 | 196,724 | 204,685 | 217,222 | 216,540 | 207,442 |
| 燃料費計 | 石炭費 | 43,974 | 48,615 | 58,202 | 54,123 | 42,367 |
| | 燃料油費 | 172,818 | 59,449 | 21,959 | 16,959 | 4,356 |
| | ガス費 | 490,600 | 414,324 | 427,292 | 443,481 | 388,094 |
| | 核燃料費 | 840 | 0 | 11,795 | 22,966 | 21,669 |
| | その他燃料費 | 2,090 | 1,155 | 867 | 696 | 446 |
| 燃料費計 | 710,326 | 523,544 | 520,117 | 538,227 | 456,934 | |
| 修繕費計 | 水力 | 9,980 | 11,798 | 12,889 | 11,569 | 11,502 |
| | 火力 | 42,275 | 38,820 | 25,166 | 19,899 | 23,090 |
| | 原子力 | 38,803 | 38,438 | 33,098 | 42,402 | 50,854 |
| | 新エネ | 63 | 26 | 1 | 22 | 47 |
| | 送電 | 9,943 | 10,766 | 15,034 | 11,629 | 10,507 |
| | 変電 | 7,937 | 7,990 | 6,125 | 10,177 | 6,414 |
| | 配電 | 73,528 | 79,116 | 89,445 | 78,951 | 89,953 |
| | 業務 | 2,817 | 2,626 | 2,345 | 2,425 | 1,854 |
| 修繕費計 | 185,351 | 189,583 | 184,106 | 177,078 | 194,224 | |
| 減価償却費計 | 水力 | 17,680 | 17,304 | 17,131 | 17,866 | 13,033 |
| | 火力 | 61,896 | 61,296 | 47,615 | 44,231 | 32,943 |
| | 原子力 | 51,228 | 52,213 | 43,728 | 43,146 | 33,771 |
| | 新エネ | 258 | 222 | 54 | 303 | 114 |
| | 送電 | 69,737 | 67,582 | 64,300 | 62,312 | 52,174 |
| | 変電 | 32,486 | 32,471 | 33,644 | 33,516 | 24,375 |
| | 配電 | 32,781 | 31,359 | 30,715 | 30,089 | 21,688 |
| | 業務 | 15,720 | 15,034 | 13,520 | 12,978 | 9,573 |
| 減価償却費計 | 281,790 | 277,485 | 250,710 | 244,444 | 187,676 | |
| 公租公課計 | 法人税等 | 61,805 | 41,690 | 40,974 | 33,356 | 31,990 |
| | 電源開発促進税 | 51,190 | 51,616 | 52,512 | 51,663 | 50,633 |
| | 固定資産税 | 52,800 | 52,763 | 51,954 | 50,409 | 48,936 |
| | 事業税 | 29,351 | 24,989 | 25,562 | 25,448 | 23,752 |
| | 雑税 | 10,293 | 14,639 | 10,352 | 12,510 | 11,498 |
| | 水利使用料 | 4,397 | 4,418 | 4,415 | 4,429 | 4,423 |
| 公租公課計 | 209,837 | 190,118 | 185,771 | 177,816 | 171,234 | |
| 購入電力料計 | 地帯間購入電源・送電費 | 37,152 | 8,930 | 11,113 | 11,991 | 10,606 |
| | 他社購入電源・送電費・非化石証書購入費 | 456,424 | 452,727 | 455,605 | 504,883 | 443,575 |
| 購入電力料計 | 493,577 | 461,657 | 466,719 | 516,874 | 454,183 | |

| | | | | | |
|--------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 使用済燃料再処理等発電費 ^(※1) | 4,252 | 1,326 | 21,706 | 42,586 | 37,922 |
| 使用済燃料再処理等既発電費 | 20,738 | 20,738 | 20,738 | 20,738 | 20,738 |
| 使用済燃料再処理等発電準備費 | 2,207 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 廃棄物処理費 | 51,955 | 16,843 | 13,265 | 13,348 | 18,634 |
| 特定放射性廃棄物処分費 | 184 | 18 | 4,239 | 10,488 | 10,499 |
| 消耗品費 | 8,273 | 6,636 | 7,070 | 7,166 | 8,577 |
| 補償費 | 9,431 | 2,440 | 2,929 | 3,010 | 2,827 |
| 賃借料 | 59,330 | 61,327 | 60,422 | 58,005 | 50,323 |
| 託送料・事業者間精算費 | 15,413 | 16,180 | 16,648 | 14,841 | 15,951 |
| 委託費 | 138,813 | 132,896 | 127,799 | 106,879 | 129,996 |
| 損害保険料 | 1,679 | 1,746 | 1,651 | 1,698 | 1,967 |
| 原子力損害賠償支援機構一般負担金 | 31,544 | 31,543 | 31,541 | 31,543 | 31,542 |
| 普及開発関係費 | 3,171 | 9,201 | 8,707 | 10,196 | 10,621 |
| 養成費 | 1,706 | 1,776 | 1,705 | 1,597 | 1,738 |
| 研究費 | 8,583 | 8,083 | 7,950 | 8,331 | 8,257 |
| 諸費 | 34,883 | 24,959 | 26,571 | 29,696 | 50,722 |
| 電気料貸倒損 | 834 | 723 | 1,294 | 1,117 | 631 |
| 固定資産除却費 | 21,033 | 20,125 | 29,758 | 22,445 | 31,049 |
| 原子力発電施設解体費 | 10,287 | 10,120 | 13,275 | 16,050 | 14,408 |
| 共有設備費等分担額(貸方含む) | 627 | 697 | 770 | 773 | 759 |
| 開発費・開発費償却 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 電力費振替勘定 | ▲ 124 | ▲ 98 | ▲ 247 | ▲ 234 | ▲ 187 |
| 建設分担関連費振替額 | ▲ 307 | ▲ 458 | ▲ 608 | ▲ 843 | ▲ 959 |
| 附帯事業費用分担関連費振替額 | ▲ 296 | ▲ 488 | ▲ 1,319 | ▲ 1,552 | ▲ 1,295 |
| 株式発行費・償却 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 社債発行費・償却 | 304 | 563 | 734 | 918 | 855 |
| 原子力廃止関連仮勘定償却費 | 748 | 748 | 1,845 | 5,307 | 7,986 |
| 使用済燃料再処理等既発電費支払契約締結分 ^(※2) | | 1,011 | 1,011 | 1,011 | 1,011 |
| その他経費計 | 425,277 | 368,666 | 399,464 | 405,121 | 454,582 |
| 営業費用小計 | 2,502,887 | 2,215,741 | 2,224,111 | 2,276,104 | 2,126,278 |

| | | | | | | |
|---------------------|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 特定固定資産 | | 3,483,260 | 3,483,260 | 3,248,703 | 3,118,224 | 3,118,224 |
| 核燃料資産 | 装荷核燃料 | 427,623 | 427,623 | 480,151 | 512,523 | 512,523 |
| | 加工中、半製品、完成核燃料等 | 87,053 | 87,053 | 0 | 0 | 0 |
| 使用済燃料再処理 関連加工仮勘定 | | — | — | — | 69,792 | 69,792 |
| 建設中資産 | 建設仮勘定1/2 | 151,764 | 151,764 | 135,072 | 270,992 | 270,992 |
| 繰延資産 | 試験研究費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 開発費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 株式発行費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 社債発行費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 社債発行差金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 運転資本 | 減償・公課除営業費1.5ヶ月 | 252,304 | 252,304 | 186,179 | 168,926 | 168,926 |
| | 燃料他貯蔵品1.5ヶ月 | 125,354 | 125,354 | 68,784 | 54,187 | 54,187 |
| 特定投資 | 特定投資(長期投資) | 114,621 | 114,621 | 162,116 | 139,624 | 139,624 |
| 小計 | | 4,641,979 | 4,641,979 | 4,281,005 | 4,334,268 | 4,334,268 |
| 事業報酬計 | | 134,617 | 134,617 | 119,868 | 125,694 | 125,694 |

| | | | | | | |
|-------|----------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 控除収益 | 遅取加算料金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地帯間販売電力料 | 13,510 | 10,105 | 12,654 | 12,532 | 10,922 |
| | 他社販売電力料 | 26,063 | 24,855 | 55,804 | 137,682 | 64,198 |
| | 託送収益 | 2,430 | 1,191 | 1,143 | 1,625 | 1,134 |
| | 事業者間精算収益 | 1,178 | 654 | 1,738 | 2,627 | 2,053 |
| | 電気事業雑収益 | 30,259 | 30,758 | 30,197 | 29,164 | 28,938 |
| | 預金利息 | 8 | 3 | 1 | 10 | 13 |
| 控除収益計 | | 73,448 | 67,569 | 101,540 | 183,642 | 107,261 |

| | | | | | | |
|--------|--|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 総括原価合計 | | 2,564,056 | 2,282,789 | 2,242,439 | 2,218,156 | 2,144,711 |
|--------|--|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|

切り捨ての関係で内訳と合計が合わない場合があります。

(※1) H28年度から会計整理変更により使用済燃料再処理等拠出金発電費へ振り替わっています。

(※2) H28年度から会計整理変更により他社購入電力料から振り替わっています。

●新Q 2. 貴社は、貴社の旧役職員による金品受領問題に関する第三者委員会報告書を厳粛かつ真摯に受け止め、業務改善計画を不退転の決意で実施する旨を表明しています。また、6月29日には、業務改善計画の進捗状況について経済産業大臣に報告され、その内容を公表しています。

- ① 2020年度上半期における業務改善計画の進捗状況について教えてください。
- ② 貴社が使われている、「ユーザー目線」とはどのようなことを意味する言葉なのか教えてください。また、「ユーザー目線」による業務遂行を社内に浸透させるために、どのような取組をされていますか。教えてください。
- ③ 原子力事業の消費者に対する透明性を高める取組み、及び原子力事業の工事発注・契約に係る業務の適切性を確保する取組みについて教えてください。
- ④ 消費者の信頼回復のために、会長・社長をはじめとする新経営陣が、公開の場で、貴社の旧役職員による金品受領問題の経過及び貴社の取組みについて消費者に直接説明し、対話する場を設ける考えはありますか。

【回答】

- ① 業務改善命令の指摘を真摯に受け止め、新たな経営体制のもとで業務改善計画を着実に実行してきました。3月30日に提出した業務改善計画について、概ね全ての取組みが実施段階に移行したものと考えておりますが、引き続き、業務改善計画の施策を着実に実行し、信頼回復に全力を尽くしてまいりたいと考えております。
- ② 第三者委員会調査報告書で述べられている「ユーザー目線」とは、当社サービスをご利用いただくお客さま目線のことを意味します。その上で、以下の取組みを行っています。
 - ・「ステークホルダーのみなさまに対する宣誓」(3/30)を社内規定として制定し、公表しました。
 - ・社長宣誓の趣旨等について、関西電力グループCSR行動憲章に明記し、従業員等が遵守する行動規範として、明確にしました。
 - ・役員と従業員とのコミュニケーション機会等を通じて、社長宣誓の意味を自らの言葉で伝え浸

透を図る(4月以降、TV会議システムを活用した従業員とのコミュニケーションを49回実施し、意見交換の内容を社内で共有)、とともに、社長宣誓を意識した行動を実践しています。

- ③ 原子力事業の消費者に対する透明性を高める取組みについては、以下のとおり、新たな経営管理体制の構築を通じ、ガバナンスの強化を図るだけでなく、原子力事業本部社員が経営層とのコミュニケーションを図る機会を確保することにより、今後も引き続き、安全の確保を大前提とし、透明性を高めながら原子力事業に取り組んでいくことについて、意識面での浸透を図るよう取り組んでおります。

- ・健全なガバナンスの効いた組織、風通しの良い組織に改善するため、原子力事業本部に、コンプライアンスを所管する原子力事業本部長代理を設置
- ・原子力事業本部に対する監督、監査機能を強化するため、監査委員会スタッフとして、本部に常駐する監査特命役員を任命
- ・原子力部門の組織風土改革の一環として、原子力事業本部長をはじめとする原子力事業本部幹部と原子力事業本部社員とのコミュニケーションを定期的開催
- ・風通しの良い組織の創生に向けた取組みの一環として、取締役会を福井県美浜町所在の原子力事業本部にて開催し、また、これに合わせ、社外取締役等と原子力事業本部社員との意見交換を実施

また、業務改善計画に基づく工事の発注・契約に係る業務の適切性および透明性を確保する取組みについては、外部の専門家等で構成される「調達等審査委員会」を新たに設置し、工事の発注・契約案件等の審査を行う仕組みを構築しています。

さらには、特定の個人や企業のみを対象とした工事の発注・契約等に係る事前情報提供、事前発注約束につながる個別の工事の発注・契約等に係る金額の開示、元請会社の工事の発注・契約等に対する不適切な関与、特定の個人や企業に対する合理性のない特命発注等の禁止事項について、新たに社内ルールを定め、第2回調達等審査委員会で、適切との評価をいただくとともに、第3回調

達等審査委員会で、個別案件について審査いただいた結果、適切と評価いただきました。

今後も、当該社内ルールに基づき業務が適切に執行されているかの審査を、調達等審査委員会に行っていただきます。

なお、工事の発注・契約等に係る牽制機能強化のため、事務用品の購入、システム開発等の高度に専門性の高い委託業務等を除き、原子力発電所が有する契約権限を調達本部に移管しました。

④ これまでから、プレス発表や定例の社長会見において、直接ご説明させていただいていると考えております。今後も、そのような場を活用させていただき、信頼回復に全力を尽くしてまいります。

また経営陣による上記の対応に加えて、日頃からの全社員による地域の皆さまへの対応や、弊社にお問い合わせいただくなど様々な機会を通じ、これまで同様に真摯に対応させていただく考えであります。

●Q 3. 貴社は、2020年7月8日の懇談において、森山氏に対する事前発注約束等に基づく発注であっても、発注金額は妥当と判断している旨を表明されました。しかし、取締役責任調査委員会報告書は、「関西電力には、事前発注約束等に基づく不適切な発注によって、本件取引先等に過大な金銭を支払うことにより損害が発生している。この損害額は、本件取引先等が不適切な発注によって得た過大な利益相当額であって、この金額は関西電力等の役職員が1987年5月以降、森山氏から受領した金品の総額である約3億6,000万円を上回ることは容易に推察できる」（報告書P44）と指摘しており、発注金額が過大なものであったと評価しています。

この取締役責任調査委員会の評価に対する貴社の見解を伺います。

【回答】

本件につきましては、ご心配とご迷惑をお掛けしておりますことを、深くお詫び申し上げます。当社と致しましては、取締役責任調査委員会は適切に調査・検討を行ったものと考えております。これ以上の詳細については、訴訟に関わることでありますので、回答を差し控えさせていただきます。

●Q 4. 2020年6月16日、貴社の監査役は、取締役責任調査委員会報告書に基づいて、旧取締役であった5名の旧役員に損害賠償請求訴訟を提起されました。損害賠償請求額は、5名に対する総額19億3,600万円、1名に対する1億7,000万円となっています。報道によれば、その内訳は以下のようになっています。貴社による損害賠償請求額は、旧取締役のどの行為にいくらの賠償請求をしたのかその明細を教えてください。

| 損害を与えた行為 | 損害額の見積 |
|--|-----------|
| 自治体の入札指名停止による受発注減やテレビCMの放映自粛による営業効果の縮小 | 8億7,900万円 |
| 信頼回復に向けた広告費など | 2億8,400万円 |
| 第三者委員会、社外調査委員会などの費用 | 7億7,000万円 |
| 元助役側への工事発注の事前約束などによる損害 | 検討中 |

【回答】

本件につきましては、ご心配とご迷惑をお掛けしておりますことを、深くお詫び申し上げます。訴訟においては、金品受取り、事前発注約束、対外公表等をしなかったこと、役員報酬カット分の補填、追加納税分の補填といった取締役の善管注意義務違反が認められた行為について、それによって発生した総額19億3,600万円の損害を、各旧取締役が連帯して賠償することを求めています（ただし、森氏については役員報酬カット分の補填に関して1億7,000万円を限度に連帯して賠償することを求めています）。

●Q 5. 使用済み核燃料の中間貯蔵施設をどこに確保するのか、それはどの程度の施設で、どれほどの投資を要するのかについて、具体的に計画化する時期に至っていることは周知の事実です。ウラン燃料及びMOX燃料それぞれについて、現時点における使用済み核燃料の各原発サイト内における保管量と中間貯蔵施設の計画について教えてください。

【回答】

当社のプラントごとの使用済燃料の保管量は、2020年7月末時点で以下のとおりとなっています。

- ・美浜発電所：1,153体、内使用済MOX燃料4体
 - ・高浜発電所：2,835体、内使用済MOX燃料0体
 - ・大飯発電所：3,740体、内使用済MOX燃料0体
- 中間貯蔵施設については、「使用済燃料対策推進計画」において、福井県外で2020年頃に計画地点を確定し、2030年頃に操業開始する方針としており、

国とも連携を密にしながら、計画地点確定に先立って、2020年を念頭に、具体的な計画地点をお示しできるように、取組みを進めているところです。

なお、立地に向けた具体的な検討や取組みの内容については、今後の取組みの支障となるおそれがあるため、回答は差し控させていただきます。



新Q 6. 貴社は、国内外で再生可能エネルギーの開発に取り組んでいます。その現状と今後の計画について教えてください。とりわけ、国内の今後の取組みについて貴社の方針を教えてください。

可能エネルギーの導入に向けた取組みを推進しております。

今後は、自社開発に加え、他事業者とのアライアンスによる開発などさらなる取組みを加速させ、2030年代には「低炭素」のリーディングカンパニーとして、国内外の再生可能エネルギー電源の設備容量600万kWを目標に、国内外で200万kW以上の新規開発に取組み、低炭素に対するお客さまのご期待や社会の要請にさらにお応えしてまいりたいと考えております。

【回答】

再生可能エネルギーは、エネルギーセキュリティや地球温暖化対策の観点から重要なエネルギーであると考えております。当社は、これまで太陽光発電や風力発電の新規開発等を進めることにより、再生

関西電力グループの再生可能エネルギーの導入状況および開発計画について

〈国内〉

2020年8月現在

| 電 源 | 開発案件 | 規 模 | 運転開始 | 自社・グループ会社開発 |
|----------------------|--|-----------------------|-------------|----------------|
| 太陽光 8.17万kW | 堺太陽光発電所 | 10,000kW | 2011年9月7日 | 当社 |
| | 若狭おおい太陽光発電所 | 500kW | 2013年11月6日 | 当社 |
| | けいはんな太陽光発電所 | 1,980kW | 2013年12月1日 | 関電エネルギーソリューション |
| | 高砂ソーラーステーション | 1,000kW | 2014年3月1日 | 日本ネットワークサポート |
| | 近鉄花吉野ソーラー発電所 (ユーティリティサービス ^{*1}) | 3,000kW | 2014年3月20日 | 関電エネルギーソリューション |
| | 若狭高浜太陽光発電所 | 500kW | 2014年11月13日 | 当社 |
| | 淡路貴船太陽光発電所 (ユーティリティサービス ^{*1}) | 30,000kW | 2014年12月1日 | 関電エネルギーソリューション |
| | 有田太陽光発電所 | 29,700kW | 2015年10月1日 | 関電エネルギーソリューション |
| | 山崎太陽光発電所 | 1,980kW | 2016年11月1日 | 関電エネルギーソリューション |
| | 赤穂西浜太陽光発電所 | 1,990kW | 2018年6月1日 | 関電エネルギーソリューション |
| | けいはんな第二太陽光発電所 | 1,000kW | 2018年9月1日 | 関電エネルギーソリューション |
| 風 力 2.35万kW | 淡路風力発電所 | 12,000kW | 2012年12月20日 | 関電エネルギーソリューション |
| | 田原4区風力発電所 | 6,000kW | 2014年5月27日 | 関電エネルギーソリューション |
| | 秋田県洋上風力(当社出資比率4%) | 5,544kW ^{*3} | 2022年予定 | 秋田洋上風力発電 |
| | 大分県陸上風力 | | 未 定 | |
| | 秋田県北部洋上風力 | | 未 定 | |
| 水 力 341.14万 kW | 既設水力(～2019.3.26) ^{*2} | 3,343,175kW | — | 当社 |
| | 既設水力(2019.3.27～) ^{*2} | 7,200kW ^{*4} | | |
| | 丸山発電所1号機(設備更新) | +2,000kW | 2020年度予定 | 当社 |
| | 小鳥川発電所 (旧名称：下小鳥維持流量発電所(仮称)) | 510kW | 2021年11月予定 | 当社 |

| | | | | |
|-------------------|---------------------------------|-------------------------|------------|----------------|
| | 南木曾吾妻発電所 (旧名称：山口維持流量発電所(仮称)) | 640kW | 2022年6月予定 | 当社 |
| | 弥太蔵谷発電所(仮称) | 1,520kW | 2022年12月予定 | 当社 |
| | 黒部川第二発電所3号機(設備更新) | +1,100kW | 2023年度予定 | 当社 |
| | 笠置発電所1、2、3号機(設備更新、出力増強) | +27,500kW | 2025年5月予定 | 当社 |
| | 新坂上発電所(仮称) | 4,300kW | 2024年8月予定 | 当社 |
| | 新打保発電所(仮称) | 4,940kW | 2025年2月予定 | 当社 |
| | 丸山発電所(設備更新、出力増強) | +12,200kW | 2029年度予定 | 当社 |
| | 新丸山発電所(設備更新、出力増強) | +6,300kW | 2029年度予定 | 当社 |
| バイオマス 25.67万kW | 朝来バイオマス発電所 | 5,600kW | 2016年12月1日 | 関電エネルギーソリューション |
| | 熊本県南関町竹バイオマス(当社出資比率9.1%) | 91kW ^{※3※4} | 2019年4月26日 | パンプーエナジー |
| | 福岡県苅田町バイオマス | 75,000kW | 2022年2月予定 | バイオパワー苅田 |
| | 福島県いわき市バイオマス(当社出資比率50%) | 56,000kW ^{※3} | 2022年4月予定 | エイブルエナジー |
| | 相生2号機バイオマス変更(当社出資比率60%) | 120,000kW ^{※3} | 2023年1月予定 | 相生バイオエナジー |
| 地熱 0.01万kW | わいた発電所(当社出資比率2.3%) | 46kW ^{※3※4} | 2015年6月16日 | ふるさと熱電 |

※1 発電設備の設計・施工・所有・運営・保守に至るまでの一括したサービスを提供するもの

※2 当社が初めて再生可能エネルギーの導入目標を設定した2012年11月以降の水力開発済案件(11,804kW)を含む
対象設備：新黒礁第二発電所、大里発電所、市荒川発電所、橋谷発電所、三田発電所、出し平発電所、市川発電所、三尾発電所、黒部川第二発電所、長殿発電所、新成出発電所、音沢発電所、丸山発電所2号機、樽ノ尾発電所

※3 定格出力のうち、出資比率に応じた数値

(国 外)

| 電 源 | 開発案件 | 規模 ^{※5} | 運転開始 | 当社出資比率 | 国 名 |
|----------------|--------------|-------------------------|------------------------|--------|--------|
| 風力 57.27万kW | エヴァレイアー風力 | 54,000kW | 2013年12月 ^{※6} | 24% | アイルランド |
| | アビエータ陸上風力 | 255,000kW | 2020年予定 | 48.5% | アメリカ |
| | トライトンノール洋上風力 | 137,000kW | 2022年予定 | 16% | イギリス |
| | モーレイイースト洋上風力 | 95,000kW | 2022年予定 | 10% | イギリス |
| | ピーパリンマキ陸上風力 | 31,710kW | 2021年予定 | 15% | フィンランド |
| 水力 37.60万kW | サンロケ水力 | 218,000kW | 2003年5月 | 50% | フィリピン |
| | 名間水力 | 4,000kW | 2007年9月 | 24% | 台湾 |
| | ラジャマンダラ水力 | 23,000kW ^{※4} | 2019年5月 | 49% | インドネシア |
| | ナムニアップ1 | 131,000kW ^{※4} | 2019年9月 | 45% | ラオス |

※4 中期経営計画(2019-2021)に記載の新規開発200万kW以上の案件のうち、運開済み案件。

既設水力は、新成出発電所(+0.1万kW)、音沢発電所(+0.2万kW)、丸山発電所2号機(+0.1万kW)、黒部川第二発電所2号機(+0.1万kW)を含める。

※5 定格出力のうち、出資比率に応じた数値 ※6 当社が参画したのは2017年11月1日

(合 計)

| | 国 内 | 国 外 | 合 計 |
|-------------|-------------|-----------|-------------|
| 運転開始(竣工済)案件 | 3,455,762kW | 430,000kW | 3,885,762kW |
| 現在取組中の案件 | 317,554kW | 518,710kW | 836,264kW |
| 合 計 | 3,773,316kW | 948,710kW | 4,722,026kW |

●**Q 7** 6月5日に成立したエネルギー強靱化法による電気事業法改正で「平時においても、電気の使用状況等のデータを有効活用する制度」(経済産業省の同法律案概要資料より)の整備が行われました。今後具体化が進むと思われます。

2018年11月に設立され、貴社も2019年3月に参画された「グリッドデータバンク・ラボ有限責任事業組合」は、昨年6月26日の第19回電力・ガス基本政策小委員会で「スマートメーターのデータ活用とその可能性」というプレゼンテ

ーションを行い、電力データの活用を提言されています。「グリッドデータバンク・ラボ有限責任事業組合」への参画を含めた貴社の電力データの利用に係る事業方針を教えてください。

【回答】

弊社では、全国に先駆け、2008年度からスマートメーターを導入し、スマートメーターのデータの利用による新たな価値創出に取り組んでいます。なお、2020年4月からは関西電力送配電株式会社にて、「グリッドデータバンク・ラボ有限責任事業組合」に参画し、幅広い業種の参画者と様々なユースケー

スの検討やその有効性の検証等の協創活動を積極的に行っていくものと認識しております。

【期待される新たなサービス創出】

- ・電力データ × 運輸業 ⇒ 運送効率向上
- ・電力データ × 建設業・家電メーカー ⇒ スマートホーム
- ・電力データ × 銀行業 ⇒ なりすまし防止
- ・電力データ × リース業・不動産業 ⇒ 不動産価値の新たな評価軸
- ・電力データ × 自治体 ⇒ 見守りサービス、空き家対策、防災関係計画、等。



●Q 8. 新型コロナウイルスの感染拡大による、貴社の事業環境の変化と貴社の対応について教えてください。

【回答】

現在、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、社会全体でその克服に向けて取り組むことが求められています。こうした中、当社は、社会インフラを担う事業者として、当社グループの事業活動に関わる全ての人の生命・健康を守り、事業継続に万全を期すことにより、電力・ガス・通信等、社会のみなさまのくらしやビジネスに不可欠なサービスを、引き続き安全・安定的にお届けできるよう、総力をあげて取り組んでまいりたいとの考えから、2020年度重点取組みとして「新型コロナウイルスへの対応」を掲げ、感染症対策と事業継続のための取組みを行っています。

一方、新型コロナウイルス感染症の拡大は、電力需要をはじめ、当社グループの事業活動全般にも大きな影響が見込まれており、2020年度第1四半期決算では、新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、発電・販売事業において、小売販売電力量が第一四半期で平成となった1989年以降、最大の減少幅となったことや、生活・ビジネスソリューション事業が減益に

なるなど、大変厳しい決算となりました。引き続き、電力需要をはじめとした事業活動全般への影響も踏まえると先行きは不透明感を増しており、予断を許さない状況と考えています。

当社は、引き続き、現行の中期経営計画で掲げた、「『持続可能な未来社会の実現を支える共通基盤』の主要な担い手として、お客さまと社会のお役に立ち続ける」という、当社の将来の「目指す姿」を変える必要は無いものの、新型コロナウイルス感染症の拡大による情勢変化を踏まえ、そこに至る道筋については検証が必要だと考えております。当社グループが持続的に成長していくために、どのような手立てを講じていくべきか、中期経営計画の見直しも含めて、しっかりと議論してまいります。

【参考】当社の新型コロナウイルスへの対応

| | |
|---|----|
| 新型コロナウイルスへの対応 | 15 |
| <p>✓ 社会インフラを担う事業者として、当社グループの事業活動に関わる全ての人の生命・健康を守り事業継続に万全を期すことにより、電力・ガス・通信等、社会の皆さまのくらしやビジネスに不可欠なサービスを、引き続き安全・安定的にお届けできるよう、総力をあげて取り組みます</p> | |
| <p>感染防止と事業継続のための取組み</p> | |
| <p>(感染防止の取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○柔軟な働き方の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅勤務の徹底、勤務をサポートするITツールの充実 ・不要不急の出張の自粛 ○協力を会社を含めた職場ぐるみの対策 <ul style="list-style-type: none"> ・日々の健康記録の実施、体調管理の徹底 ・マスク着用の徹底、アルコール消毒液の設置 ・執務室や会議体等での「3つの密」の回避を徹底、Web会議システムの活用 | |
| <p>(事業継続の取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○要員の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・同一業務に従事する従業員のローテーション勤務の実施 ・中央給電指令所、基幹系統給電所の一体運用によるバックアップ体制の確保（罹患者発生時） ・事業所への送迎バスの運用見直し、入構者の体温確認の実施 ○資材等のサプライチェーンの維持 <ul style="list-style-type: none"> ・混乱の長期化を見据えた代替的な調達先の確保 | |
| <p>当社グループ事業への影響を踏まえた対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今年度の事業への影響を精査し、対応（例：電力需要、燃料価格の動向） ○中期経営計画(2019-2021)への影響を精査 | |

各種データについて

(1) 供給実績と需給実績

※(1)については経営戦略上、以下の様式へと変更しております。

供給実績とその内訳

(単位：百万kWh)

| 年度 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | |
|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 自 社 | 水 力 | 14,780 | 13,362 | 13,761 | 13,496 | 13,523 |
| | 火 力 | 83,705 | 81,523 | 67,787 | 61,207 | 57,916 |
| | 原子力 | 310 | ▲ 442 | 12,865 | 30,092 | 26,717 |
| | 新エネ | 88 | 93 | 80 | 19 | 13 |
| 他社送受電 | 36,821 | 34,899 | 27,525 | 21,353 | 22,622 | |
| 揚水発電所の 揚水用電力量 | ▲ 1,063 | ▲ 1,653 | ▲ 1,490 | ▲ 2,284 | ▲ 2,570 | |
| 合 計 | 134,641 | 127,783 | 120,528 | 123,884 | 118,221 | |
| 販売電力量 | 127,516 | 121,500 | 115,244 | 117,826 | 112,992 | |
| 出水率(%) | 112.9 | 99.1 | 107.2 | 103.1 | 98.6 | |

※自社の発電電力量については、発電端電力量から送電端電力量へ変更している。

※四捨五入の関係で合計が合わないことがあります。

(4) 火力発電用燃料計画と消費量

火力発電用燃料消費等

| 年 度 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
|--|--------|--------|--------|--------|--------|
| 重油消費量 (千 \times %) | 193 | 275 | 157 | 136 | 47 |
| 原油消費量 (千 \times %) | 3,366 | 1,358 | 345 | 194 | 30 |
| L N G 消費量 (千 \times) ^{*1} | 8,319 | 9,031 | 7,544 | 6,929 | 6,654 |
| 石炭消費量 (千 \times) | 4,194 | 4,507 | 4,648 | 3,738 | 3,566 |
| その他消費量 (千 \times %) ^{*2} | 18 | 19 | 33 | 22 | 0 |
| 重油換算消費量計 (千 \times %) | 17,714 | 16,599 | 13,536 | 12,045 | 11,170 |
| 熱 効 率 (%) | 44.12 | 44.9 | 45.6 | 47.0 | 47.1 |
| 重油換算消費率 (%/kWh) | 0.204 | 0.196 | 0.193 | 0.189 | 0.183 |

※1 都市ガス消費量(LNG換算)を含む

※2 LPG、軽油、灯油、木炭ペレット等消費量(重油換算)を含む

(6) 電灯・電力別販売電力量の実績

(百万kWh)

| 年 度 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | |
|-----------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 特 定 需 要 | 電 灯 計 | 31,400 | 27,506 | 22,458 | 18,240 |
| | 電 力 計 | 4,612 | 4,095 | 3,468 | 3,070 |
| | 計 | 36,012 | 31,601 | 25,926 | 21,310 |
| そ の 他 需 要 | 低 圧 | 12,901 | 15,019 | 16,055 | 17,465 |
| | 高 圧 | 35,272 | 32,390 | 36,956 | 37,940 |
| | 特 高 | 37,314 | 36,234 | 38,889 | 36,276 |
| | 計 | 85,488 | 83,643 | 91,900 | 91,681 |
| 合 計 | 121,500 | 115,244 | 117,826 | 112,992 | |

※四捨五入の関係で合計が合わないことがあります。

(7) 期末の資産内訳、公租公課内訳

期末の各資産内訳

(億円)

| | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 電気事業固定資産 | 35,086 | 33,801 | 33,069 | 32,596 | 32,362 |
| 核 燃 料 | 5,262 | 4,813 | 4,941 | 5,062 | 5,093 |
| 長 期 投 資 | 1,747 | 1,879 | 2,203 | 1,985 | 2,126 |
| 建 設 仮 勘 定 | 3,804 | 4,262 | 4,263 | 5,661 | 7,412 |
| 繰 延 資 産 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

各種引当金の残高

(億円)

| | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
|----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 退職給付引当金 | 3,037 | 3,160 | 3,311 | 3,343 | 3,343 |
| 使用済燃料 再処理引当金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 使用済燃料再 処理等引当金 | 5,582 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 使用済燃料再処 理等準備引当金 | 531 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 原子力発電施 設解体引当金 | 4,154 | 4,255 | 4,343 | 4,449 | 4,567 |
| 災 害 復 旧 費 用 引 当 金 | 0 | 0 | 0 | 13 | 0 |
| 役員賞与引当金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 濁水準備引当金 | 284 | 274 | 289 | 283 | 274 |
| 日本国際博覧 会出展引当金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

公租公課の実績

(億円)

| | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 法 人 税 | 90 | 0 | 29 | 4 | 45 |
| 事 業 税 | 293 | 249 | 255 | 254 | 237 |
| 固 定 資 産 税 | 528 | 527 | 519 | 504 | 489 |
| 電 源 開 発 促 進 税 | 511 | 516 | 525 | 516 | 506 |
| 水 利 使 用 料 | 43 | 44 | 44 | 44 | 44 |
| 雑 税 | 102 | 146 | 103 | 125 | 114 |
| 公 租 公 課 計 | 1,571 | 1,484 | 1,477 | 1,449 | 1,437 |

(8) 年度末の電源設備、発電電力量

※経営戦略上、計画値については回答を差し控えていただきます。

期末の発電電力量及び構成比 (単位: 億kWh、%)

| 種別 | 年度 | 電源別需給実績 (億kWh、%) ^{※1} | | | | | |
|----------------------|-----------------------|--------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------|
| | | 2015年度 (実績) | 2016年度 (実績) | 2017年度 (実績) | 2018年度 (実績) | 2019年度 (実績) | |
| 自 社 ^{※2} | 水力 | 一般 | 141(14) | 123(13) | 128(14) | 121(12) | 119(12) |
| | | 揚水 | 7(1) | 11(1) | 10(1) | 14(1) | 16(2) |
| | | 小計 | 148(15) | 134(14) | 138(15) | 135(13) | 135(14) |
| | 火力 | 石油・その他 | 152(15) | 66(7) | 19(2) | 12(1) | 2(0) |
| | | L N G | 584(57) | 619(65) | 527(56) | 495(47) | 475(48) |
| | | 石炭 | 129(13) | 131(14) | 131(14) | 105(10) | 102(10) |
| | | 小計 | 865(85) | 815(86) | 678(72) | 612(58) | 579(59) |
| | | 原子力 | 8(1) | ▲4(0) | 129(14) | 301(29) | 267(27) |
| | 新エネルギー等 ^{※3} | 1(0) | 1(0) | 1(0) | 0(0) | 0(0) | |
| | 自社計 | 1,023(100) | 945(100) | 945(100) | 1,048(100) | 982(100) | |
| 他 社 ^{※4} | 受電電力量 | 397 | 388 | 376 | — | — | |
| | 送電電力量 | ▲29 | ▲39 | ▲101 | — | — | |
| | 他社計 | 368 | 349 | 275 | 213 | 226 | |
| 揚水発電所の揚水電力量 | | ▲11 | ▲17 | ▲15 | ▲23 | ▲26 | |
| 合計 | | 1,380 | 1,278 | 1,205 | 1,239 | 1,182 | |

注: カッコ内は構成比(%)を表す。
 : 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。
 ※1 一部、確定していないインバランスを含む。
 ※2 自社について、2015年度以前は発電端、2016年度以降は送電端を記載。
 ※3 新エネルギー発電電力量は、火力発電設備におけるバイオマスと新エネルギー等発電設備における太陽光による発電電力量である。
 ※4 他社について、受電端を記載。2019年度以降は合計値のみ記載。

期末の電源設備及び構成比 (単位: 万kW、%)

| 種別 | 年度 | 年度末設備 (万kW、%) | | | | |
|---------|--------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | | 2015年度 (実績) | 2016年度 (実績) | 2017年度 (実績) | 2018年度 (実績) | 2019年度 (実績) |
| 水力 | 一般 | 334(9) | 334(9) | 334(10) | 334(10) | 335(11) |
| | 揚水 | 488(13) | 488(13) | 488(14) | 488(14) | 488(16) |
| | 小計 | 823(22) | 823(22) | 823(24) | 823(24) | 823(27) |
| 自 社 | 石油・その他 | 822(22) | 747(20) | 747(22) | 747(22) | 379(12) |
| | L N G | 939(26) | 1,014(28) | 1,017(30) | 1,018(30) | 1,018(33) |
| | 石炭 | 180(5) | 180(5) | 180(5) | 180(5) | 180(6) |
| | 小計 | 1,941(53) | 1,941(53) | 1,943(57) | 1,944(57) | 1,577(52) |
| | 原子力 | 893(24) | 893(24) | 658(19) | 658(19) | 658(22) |
| 新エネルギー等 | | 1(0) | 1(0) | 1(0) | 1(0) | 1(0) |
| 自社計 | | 3,657(100) | 3,657(100) | 3,425(100) | 3,426(100) | 3,059(100) |
| 他 社 | 他社計 | 980 | 1,002 | 1,028 | 1,034 | 969 |
| 合計 | | 4,637 | 4,659 | 4,452 | 4,460 | 4,028 |

注: カッコ内は構成比(%)を表す。
 : 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

(9) 変動項目の影響額

変動項目の影響額 (単位: 約 億円)

| 年 度 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
|--------------|------|------|------|------|------|
| CIF価格1ドル/バレル | 98 | 68 | 54 | 49 | 43 |
| 為替1円/ドル | 66 | 55 | 48 | 50 | 43 |
| 原子力利用率1% | 62 | 46 | ※33 | ※41 | 37 |
| 出水率1% | 12 | 9 | 11 | 12 | 11 |

※2017年度以降は、大飯発電所1、2号機廃止後の出力を基に算定。

(10) 発電所毎のCO₂排出量実績の推移

(発電所別のCO₂排出量実績 (発電所等配分後)^{※1})

| 発電所名 | CO ₂ 排出量実績 (t-CO ₂) | | | | |
|-----------------|--|-----------|-----------|---------|---------|
| | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
| 堺港発電所 | 92,000 | 93,300 | 87,900 | 91,053 | 91,013 |
| 南港発電所 | 137,000 | 125,000 | 106,000 | 85,302 | 78,431 |
| 関西国際空港エネルギーセンター | 1,400 | 1,320 | 1,240 | 1,058 | 798 |
| 舞鶴発電所 | 525,000 | 537,000 | 583,000 | 262,228 | 459,327 |
| 海南発電所 | 189,000 | 105,000 | 40,200 | 16,548 | 0 |
| 御坊発電所 | 157,000 | 113,000 | 60,200 | 44,292 | 24,832 |
| 姫路第一発電所 | 65,700 | 71,000 | 56,000 | 60,971 | 56,176 |
| 姫路第二発電所 | 228,000 | 235,000 | 204,000 | 191,823 | 184,611 |
| 相生発電所 | 62,000 | 63,000 | 44,700 | 33,383 | 27,076 |
| 赤穂発電所 | 171,000 | 118,000 | 49,800 | 52,192 | 30,389 |
| 合計 | 1,628,100 | 1,461,620 | 1,233,040 | 838,850 | 952,654 |

※1: 発電所におけるエネルギーの使用(燃料の燃焼および他人から供給された電気・熱の使用)に伴う全てのCO₂排出量から、お客さまおよび他の電力会社に販売した電力・熱に伴う排出量を除いた排出量

〔発電所別のCO₂排出量実績（発電所等配分前）※²〕

| 発電所名 | CO ₂ 排出量実績 (t-CO ₂) | | | | |
|-----------------|--|------------|------------|------------|------------|
| | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
| 堺港発電所 | 5,270,000 | 5,360,000 | 4,870,000 | 4,802,340 | 4,575,301 |
| 南港発電所 | 4,790,000 | 4,320,000 | 3,280,000 | 2,582,887 | 2,325,544 |
| 関西国際空港エネルギーセンター | 642 | 296 | 85 | 578 | 82 |
| 舞鶴発電所 | 9,770,000 | 10,500,000 | 10,800,000 | 8,712,848 | 8,311,581 |
| 海南発電所 | 2,950,000 | 1,180,000 | 281,000 | 45,126 | 0 |
| 御坊発電所 | 2,660,000 | 1,370,000 | 626,000 | 392,654 | 82,960 |
| 姫路第一発電所 | 3,440,000 | 4,010,000 | 2,700,000 | 2,790,432 | 2,624,847 |
| 姫路第二発電所 | 9,000,000 | 9,800,000 | 8,900,000 | 8,104,467 | 8,061,013 |
| 相生発電所 | 848,000 | 1,230,000 | 799,000 | 550,287 | 424,152 |
| 赤穂発電所 | 2,970,000 | 1,610,000 | 419,000 | 496,352 | 150,471 |
| 合 計 | 41,698,642 | 39,380,296 | 32,675,085 | 28,477,970 | 26,555,951 |

※²：発電所におけるエネルギーの使用（燃料の燃焼および他人から供給された電気・熱の使用）に伴う全てのCO₂排出量

※ 関西電力から「非公表」との回答のあったデータについては掲載していません。